

# 全体マップ

田中正造・足尾銅山鉛毒事件に関して、現地探訪の対象となる地域は、足尾地区、渡良瀬遊水池周辺、そして佐野市や館林市などの渡良瀬川流域の3つに大きく分けられる。

足尾と他地域はかなり離れているので、最低限1泊2日の行程を確保したい。



**6 田中正造生家** 「予は下野の百姓なり」と自ら語る正造の生家は、村でも中程度の農家のたたずまいである。県道拡幅工事に伴う改修工事で、多くの反対の声を無視して観光用に改悪され、正造を偲ぶ多くのものを失った。



**7 渡良瀬遊水池** 栃木・群馬・埼玉・茨城の4県にまたがり、3300haの面積をもつ無人の葦原。鉛毒問題を治水問題にすり替え、正造たちの反対を押しきって谷中村民を追い出し、利根川の増水を緩和するための遊水池とした。その後、貯水池造成に際し、旧谷中村民の子孫が身を挺してゆかりの地を守り、谷中湖は現在のハート型となった。

**1 松木村跡** 足尾銅山の煙害により、1902年に村民が四散し廃村を余儀なくされた。伐木と煙害で緑は育たず、表土は流れ、ハゲ山と化した。近年の緑化事業により多少の回復が見られるが、松木源流には剥き出しの露岩がなお多い。

**2 富弘美術館** 不慮の事故で身体の一部を失った星野富弘が、絵筆を口にくわえて描く詩画集が有名。生への限らない思いを込めた魂のメッセージ。

**3 草木ダム** 1977年に完成した多目的ダム。足尾鉛毒の巨大な鉛毒溜め。

## 群馬県

**4 折念鉛毒根絶碑** 毛里田地区鉛毒根絶期成同盟会が、鉛毒根絶を願って建立した。昭和の鉛毒事件の象徴である。碑は「土」の字を型どり、1977年に建立された。

**5 雲龍寺** 館林市の飛び地。鉛毒被害地のほぼ中央にあり、田中正造は栃木群馬両県鉛毒事務所をこの寺に設置した。1900年2月13日の弘暁、被害農民2500は、第4回大学請願＝押出しのため雲龍寺を出発し、川俣での弾圧に遭う。正造の分骨地のひとつ。

## 埼玉県

## 栃木県

## 茨城県

